

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 教育総務課

施策名	08 教育環境づくり
政策名	明日を担う「人」を育てる
施策がめざす将来の姿	・安全で充実した教育環境の中で、児童生徒が安心して学んでいます。 ・地域の食を生かした、安全でおいしい給食が提供できています。

2 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
長寿命化改修を実施した校数	校		2
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0		

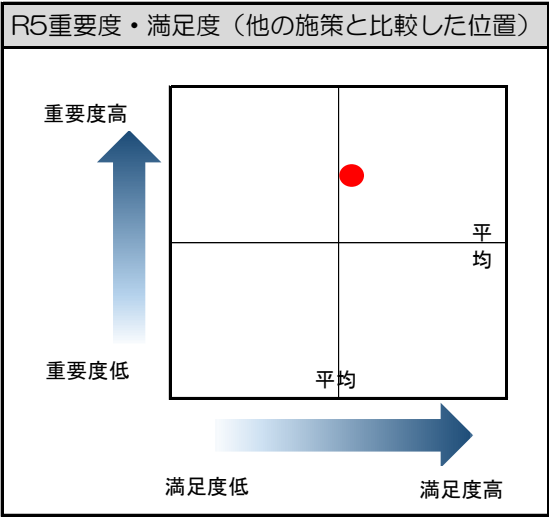
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
留守家庭児童教室の受入率	%	100	100
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100		

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和5年度
99.0

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）	
令和4年度	令和5年度
91.2	89.3

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

約7割の学校施設は建築後30年以上経過しており、経年による老朽化が進行しています。従来の改築中心の対策から、計画的に維持保全する長寿命化へ転換することにより、中長期的なトータルコストの縮減・予算の平準化を図っていきます。課題として、改修工事には多額の費用を要することから、国庫補助金等の財源の確保、学校施設整備基金の活用を図る必要があります。

留守家庭児童教室については、入室希望者のニーズ多様化、職員確保などの課題があり、今後の運営方法について検討していく必要があります。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

R5決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
21,967				進学の意欲と能力を有する学生を支援するため、修学上必要な資金を貸与する事業です。本事業を広く周知し、支援を必要としている学生に貸与することで、有能な人材の育成に寄与できるよう取り組みます。	

事務事業名②：放課後子ども教室事業

R5決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
9,138	学びクラブ教室事業	↗	↗	放課後や学校休業日に地域住民の参画を得て、学習活動、スポーツ、文化活動及び地域における多様な体験活動を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めます。	
	ふれあいクラブ教室事業	↗	↗		

事務事業名③留守家庭児童教室事業

R5決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
109,894	留守家庭児童教室事業	↗	↗	老朽化した桜ヶ丘及び瀬尻小学校の教室を建て替えます。多様化する利用希望者のニーズに対応し、質の高いサービスの提供、指導員の育成・確保を進めるため、事業運営の民間委託の検討を進めます。	○